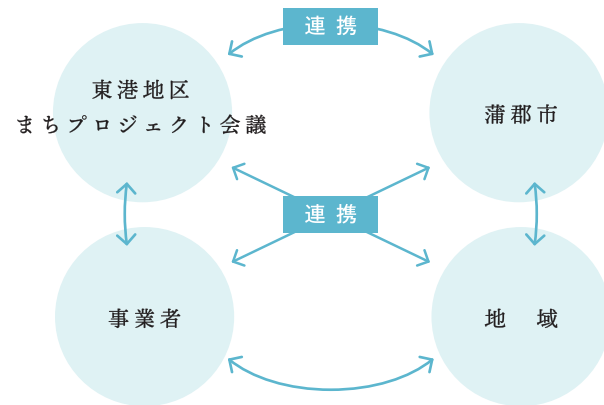


公民連携によるまちづくり

東港地区まちプロジェクト会議（令和5年12月発足）

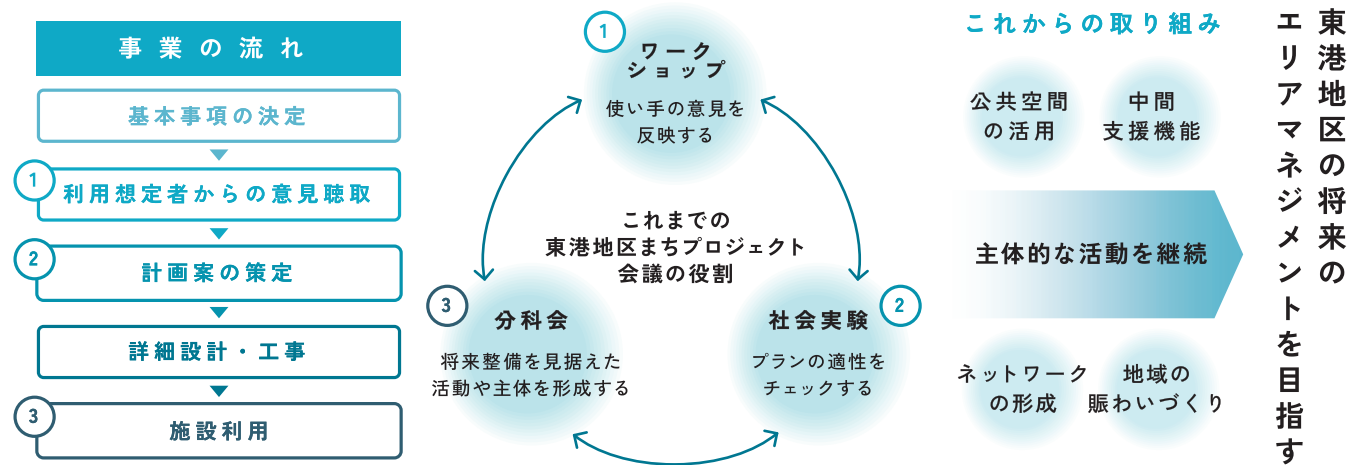


賑わいや活力ある日常のまちの風景をつくるため、市民等によるまちづくりの主体が公共空間などを活用した活動やまちの運営などを担えるよう、行政と連携する「公民連携のまちづくり」を推進する中で、東港地区まちプロジェクト会議で参画いただいている市民や事業者の方々と取り組みを進めています。

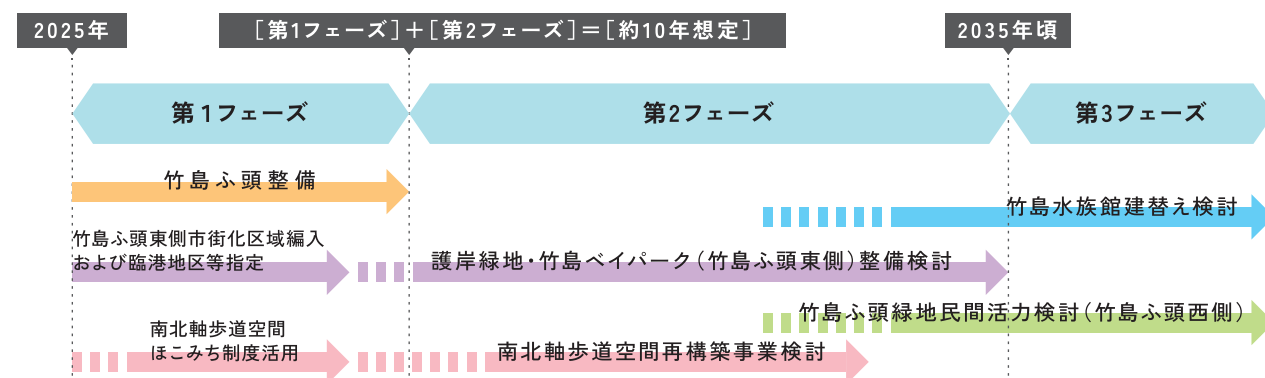
開発事業の推進と並行して自立的な活動をスタートさせ、将来的にはエリアマネジメントを担い、商業などで進出する民間事業者などと連携していけるような存在となることも想定し組織組成を目指していきます。

計画づくりから積極的に関わり、将来どのように自らがまちに関わるのか考えながらワークショップや社会実験に参加していただいております。まちづくりの主体形成に向けて活動が進んでいます。

東港地区まちプロジェクト会議の役割



整備スケジュール想定



蒲郡市東港地区 マスタープラン



概要版

令和8年 蒲郡市

資料1

蒲郡東港地区マスタープランについて

本マスタープランは、「蒲郡市東港地区まちづくりビジョン」の実現に向け、東港地区全体の将来像やゾーン方針、土地利用の考え方を示すものです。

市民参画や民間事業者との対話を通じて、公民連携・官民対話によるまちづくりの進め方と各主体の役割を整理しています。

行政・市民・事業者が共創し持続可能で魅力的なまちの風景を育てていくことを目指します。

まちづくりで大切にする **3つ** のコンセプト

1

ともに創るここにしかない
魅力あるみなとまち

まちづくりの主体となる市民など“まちを育てる人”とともに、人と人がつながり
合い新たな活動が生まれる「循環の場」を創ることで、ここに関わる人すべてにとっ
ての豊かな暮らしの一部となるような魅力あるみなとまちを目指します。

2

地域と共存する多様な商業が
楽しめるみなとまち

穏やかな三河湾を眺めながら過ごす場のひとつとして、新たな魅力ある商業空間を創り出します。飲食や買い物などを楽しめる商業施設の誘致と地元商業が進出しやすいような環境を整備することで、多様な商業が楽しめるみなとまちを目指します。

3

環境負荷を抑えながら
持続可能なみなとまち

G X（サーキュラーエコノミー × カーボンニュートラル）の実現に向けて消費エネルギー削減などに寄与する技術を取り入れ、企業や人々と連携することで、環境負荷を抑える手法が当たり前のように配慮されている持続可能なみなとまちを目指します。

まちづくりで大切にする **5つ** の視点

みなとの
玄関口

市民にとって、みなとがより近い存在となるよう、みなとからは船が行き来する風景が、船からは特色あるみなとの景観が見られるよう魅力的なみなと空間を形成します。

歩くことが楽しい
環境・空間

歩いて過ごせる“居心地の良い空間”とすることで、東港地区全体の回遊性を高めます。

次世代につなぐ
唯一無二の風景

将来ここを訪れる人々にとって、この美しい海が同じように、またはそれ以上に美しいと感じてもらえるようみなと空間の環境負荷の抑制に努めます。

ナイトタイム
エコノミー

魅力的な夜間景観により、若い世代を含む多くの人々にとって、楽しく、そして安全に過ごすことのできる賑わいの場を創出します。

まちを育てる
人の活躍

魅力や賑わいが持続的に生み出される魅力的なまちとなるよう地域活動や地域運営の担い手である”まちを育てる人”のチャレンジできる環境をつくります。



「東港地区まちプロジェクト会議」
でのワークショップの様子

G A M A G O R I」のあかりのコンセプト
のプロムナード』 竹島ふ頭：『美しい光に包まれるオンリーワンのみなと広場』



開発エリア「ぼるたる GAMAGORI」

開発エリアと周辺の海辺の空間イメージ（10年～15年後想定）

かつて蒲郡の人々の生活が海と共にあったように、
港をもっと身近に感じる、快適で魅力的な歩行空間や滞在空間を創出します。



海辺のアクティビティゾーン

水面や海辺でスポーツやアクティビティなどを楽しめる海辺の緑地空間

ヨットやクルーザーで気軽に立ち寄ってみなとまちを便利に楽しめる場所

穏やかな水面を行き来する船を臨んで、散策できる海辺空間

蒲 郡 港 線

みなとへの期待感を感じ、楽しみながら歩ける歩行空間

竹島ふ頭へとつながるまちからの玄関口となる歩行空間

海を感じながら人々が日常的に活動する賑わいのある交流拠点

過ごしたくなるみなとゾーン ぼるたる GAMAGORI

旅客船が発着する風景、三河湾やサンセットをゆっくり望める小高い緑地

食事や買い物などを楽しめる緑地と調和した歩きたくなる商業空間

竹島ふ頭、小高い緑地、竹島などの風景に囲まれた水際の歩行空間

港の風景を望みながらゆっくり過ごせる緑地空間

楽しみ、交流できる地域に根差した魅力ある水族館

竹 島 ゾ ー ン

歴史や文化を感じられる風情のある自然景観

蒲郡市のシンボル竹島を臨める緑地空間

穏やかな三河湾を望みながら滞在できる宿泊地

A 蒲郡港線

- ・フラッグ付ハイポール照明
- ・樹木ライトアップ
- ・小壁間接照明

B 竹島ふ頭

【大屋根広場】

- ・ランドマークとなる大屋根のライトアップ
- ・施設照明は電球色とする

【竹島ふ頭広場】

- ・基壇間接照明
- ・文字モニュメントライトアップ
- ・スポットライトポール 4m
- ・手すり間接照明
- ・噴水カラー演出
- ・ライトファニチャー

【小店舗型商業施設】

- ・店舗の漏れ光
- ・外壁照明
- ・樹木ライトアップ

C 護岸緑地

【商業・集合施設】

- ・店舗の漏れ光
- ・路地の明るさを確保する外壁照明
- ・樹木・花ライトアップ

【駐車場】

- ・下方配光のハイポール照明
- ・樹木ライトアップ

D 竹島ベイパーク

【水族館】

- ・夜間にもランドマークとなる、照明演出のされた新水族館施設

【商業施設等】

- ・絵になる漏れ光のある商業施設

【舗装広場】

- ・園路用低ボール灯
- ・イベント用電源
- ・水景照明

【芝生広場】

- ・夕刻も楽しめる部分照明
- ・低ボール灯
＋樹木のライトアップ
＋芝生用ハイポール

【駐車場】

- ・すべてのあかりは電球色で統一
- ・路面照度 5lx 程度を確保

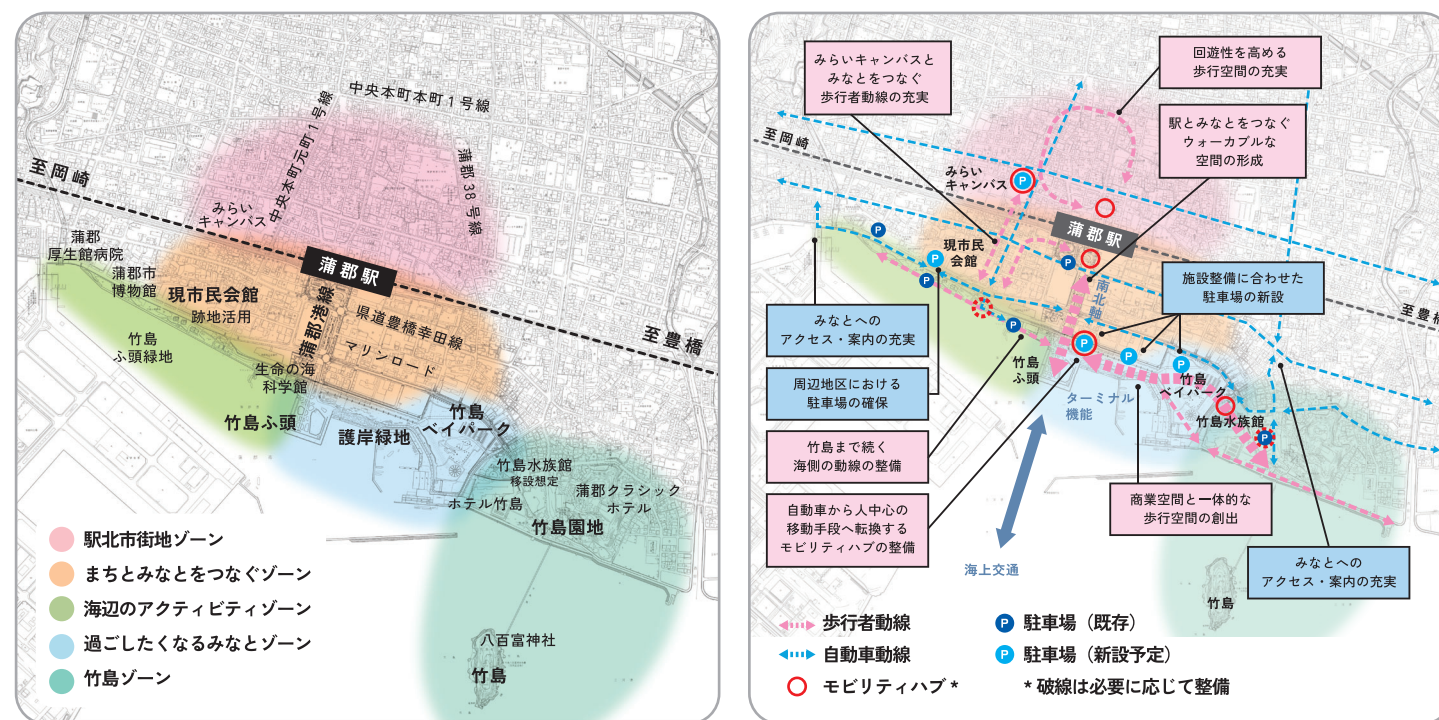
夜間景観「ぼるたる

【みなとへとつづくプロムナード】：『海へと誘うあかり



賑わいをつなぐ人中心の歩きたくなる空間づくり 東港地区のゾーニングと主要動線

駅北・駅南の市街地、港湾、竹島園地を大きく東港地区とし、ゾーニングを示します。
まちとみなとをつなぎ、竹島を臨む海辺の美しい景観を堪能できる人中心の空間づくりとともに、
市民や来街者が訪れやすい環境の充実を目指します。



駅北市街地ゾーン

方針

現在のまちなみを活かしながら新たなまちの表情を生み出す創造的な市街地を目指します。

まちとみなとをつなぐゾーン

方針

蒲郡駅とみなとをつなぐ広い道からひろがる活力ある公共空間を目指します。

海辺のアクティビティゾーン

方針

海を感じながら、体を動かすことのできる海辺の空間を目指します。

過ごしたくなるみなとゾーン（ぼるたる GAMAGORI）

方針

誰もが行ってみたいくなるみなとの玄関としてのしつらえと誰もが日常的に過ごしたくなる魅力あるみなとの空間を目指します。

竹島ゾーン

方針

蒲郡市のシンボルである竹島の持続発展的な魅力を創造する空間を目指します。



駅北「がまきたいっか」市民活動の様子



2025 年度みなとまち Village 社会実験



2024 年度伊勢湾フェリー 特別運行社会実験



2024 年度ポートタウンまちづくり デイズ社会実験



2023 年度竹島園地あかりの社会実験